

平成31年度 年間指導計画

教科	理科	対象クラス	○ 必修	単位数	2
科目	生物基礎	1年生全科	必修選択		単位
使用教科書 使用教材	第一学習社 高等学校 改訂 新生物基礎 第一学習社 スクエア最新図説生物neo				
評価の 観点・方法	定期考査の得点、プリントファイル・レポート等の提出物、授業への取り組みを総合的に評価する。				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1 学期	4	生物の特徴	・生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解させる。	・ガイダンス ・生物にみられる多様性と共通性	4
	5	生物の特徴	・細胞の基本的な構造とはたらきを理解させる。 ・顕微鏡の基本的な操作を習得させる。	・生物にみられる多様性と共通性 ・顕微鏡の使い方 ・細胞とエネルギー	6
	6	生物の特徴 植生の多様性と生態系	・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解させる。 ・植生の基本的なとらえ方を理解させる。	・細胞とエネルギー ・植生と遷移	8
	7	植生の多様性と生態系	・植生が時間の経過と共に変化することを理解させる。 ・環境に応じて様々な植生が成立していることを理解させる。	・植生と遷移 ・気候とバイオーム	2
	8				
2 学期	9	遺伝子とその働き	・遺伝物質であるDNAの構造を理解させる。 ・DNAの複製・分配のしくみを理解させる。	・遺伝子とDNA	7
	10	遺伝子とその働き	・遺伝子の発現とタンパク質合成のしくみを理解させる。	・遺伝子の働き	8
	11	遺伝子とその働き	・細胞と遺伝子の働きの関わりを理解させる。	・遺伝子の働き ・探究活動	6
	12	体内環境と恒常性	・循環系と腎臓、肝臓のはたらきを理解させる。	・生物の体内環境	2
3 学期	1	体内環境と恒常性	・神経とホルモンの働きを理解させる。	・体内環境を維持するしくみ	8
	2	体内環境と恒常性	・生体防御の種類と特徴を理解させる。	・生体防御	7
	3	植生の多様性と生態系	・生物間、生物と環境間での物質の移動を理解させる。 ・生態系保全について理解を深めさせる。	・生態系と物質循環 ・生態系のバランスと保全	2